

●名称

下馬、野沢の道と人を見守る古道沿いの三猿

●住所 世田谷区野沢一丁目9番31号

●位置図



●地域風景資産の特徴

寛文十（1670）年、11名の方によって立てられた三猿が刻まれた庚申塔である。街道から邪悪な物や病気が入らないようにという想いが込められているという。



●地域風景資産の選定の背景等

庚申塔をはじめとする石像自体は全国各地にある中、古道という地域の骨格的な空間に着目し、そこに点在する小さなものを地域で共有し、少しずつ繋いでいくことで、地域の価値を上げていく活動が期待される。主要生活道路130号線の拡幅計画により、将来的に移設が必要。

●備考